

①人生一瞬

私自身が古希を迎えた今、この言葉の重みをひしひしと感じております。
皆様方も大学卒業から今に至るまで、百人百様の人生を乗り越えてこられたことでしょう。
しかし振り返ってみればまさしく人生一瞬ではありませんか。
これは「今という一瞬をどう過ごすか」＝「自分の人生をどう生きるか」である証明と言えるのではないのでしょうか。

②自ら勉強、自然体の人生

「明日死ぬかのように生き、永遠に生きるかのように学べ」 — マハトマ・ガンジー
学び続けることの大切さを知るために背伸びをする必要は無いはず。
自然体の生き方の中にこそ追い求めたいものです。

③棺桶に半分足を入れた時、そこそこ良い人生だったと思えるか。自分の気持ちはごまかせない。

人生において壁や分岐点に直面した時、どのように対処すべきか。誰だって後悔はしたくありません。
後悔しないためには他人のせいにならない。自分の責任で決断すべきです。
人生の終わりを考えた時、自分の気持ちだけは飾ることができないのだから。

④世の中の動きに目を向けよう。

戦争を知らない子ども達と言われ、しかし戦争を体験した親から生まれた団塊の世代。
私達団塊の世代は、戦争を知らない子ども達と言われました。
平和な時代に生を受けた者として、戦争を体験した親から何を受け取ったのでしょうか。
次世代に何を引き継ぐのでしょうか。無関心ではられません。

⑤これからどんな人達と出会えるのか、ワクワク！

一生のうちに一体何人の人達と出会えるのでしょうか。
いつまでも出会いに感謝できる人生でありたい！ワクワクするのに年齢なんて関係ない！

⑥人脈って何？

70年も生きておりますと、多くの知己を得ることができ、心通わす人達も出来てきます。
しかし中には人脈作りだけが目的と感ぜられる人達にも出会います。人脈だけが目的の人には人脈は決してできないのだと、早く気付いていただきたいものです。
キラキラした人にはおのずと人は集まり、ギラギラした人には寄りつかないもの。
ちょっとした違いが大きな違いとなります。

⑦自分だけの利益、自分だけの金では淋しくありませんか。良い利益を全力で！

私達は会社や自らの事業に携わって生活する中で「利益」の大切さを知ることになります。

では「利益」とは何か、すぐに答えられるでしょうか。

生涯に約 500 もの企業育成に関わり、日本資本主義の父とも称される渋沢栄一は、著書「論語と算盤」の中で、人間は「論語で人格と磨くこと」と「資本主義で利益を追求すること」の両立が大切であると説いています。一読に値する書だと思いますので、未読の方には是非お勧めしたいと思います。いろいろな考え方があるとは思いますが、私なりの利益の考え方を記します。

1. 私の利益とあなたの利益 どちらか一方に片寄る利益は永続きしない。
2. 今日の利益と明日の利益 目先の利益ばかり追っていると大切な将来の利益を見落としがち。
先利益ばかり語っても足元の利益を固めないと辿り着けない。
今日と明日のバランスを大切に。
3. 部分の利益と全体の利益 「自分に儲けがなければやらない」というだけでは、
全体を見据えて取り組むべき利益が見えてこない。

最後に、「守銭奴の利益は追わず！」です。

⑧山あり谷あり、一緒に築き上げる喜び、永いおつきあい

個では成し遂げることができないものでも、力を合わせることで前に進めることが多くあります。

山あり谷ありの人生でも、一緒に築き上げることの喜びは何物にも代え難いものです。

人には節目の年代があります。20 代、30 代、40 代、50 代…。

私は古希（70 歳）ですが、ライフワークとしての目標があります。

「ささえぽーとプロジェクト」という中小零細企業の全国連携を目指し推進中です。

今まさに 70 歳からの人生の扉を開けたところです。

人生の扉は、誰だって、何歳からでも開けることができます。

一緒に、生き活きと頑張りましょう！

ご清聴いただきありがとうございました。